

## 四国のみち⑦「山峡からの遍路みち」

【日 時】 2017年5月8日（月曜日）

【天 候】 晴

【メンバー】 CL中野裕司 SL中野法子 宮本 晴 西ゆみ子 板東すみえ  
齋田寿子 中山 昇 徳永なおみ 計8名

【アクセス】

阿波中央橋を北に渡り、そのまま鶉の田尾トンネルを経て讃岐白鳥に抜ける国道318号線を北進。徳島自動車道の土成ICを過ぎ、山中に入るとやがて宮川内ダムに至り、湖畔に「土成道の駅」がある。登山口は道の駅から更に50m程先にある。

車はあらかじめ切幡寺の西に200mほどの阿波市役所の駐車場に帰りの車をデポ。参加者は土成道の駅に集合し駐車、道の駅は利用者が少ない為か売店等は休止中。

【コースタイム】

平間登山口……5.3km（2時間）……熊谷寺……3km（30分）……法輪寺……2.5km（40分）……秋月城跡……1.5km（40分）……切幡寺

計 歩行距離 12.3km 所要時間 3時間 50分

【コース概要】

登山口からは、いきなりコンクリート造りの擬木丸太に土止めされた急な勾配の階段状の山道が展望のない山中に上に向かって延々と続く。

勾配が緩くなって、P473m三角点に近づくにつれ、だんだんと、藪の道となって倒木も次々と現れ、そして進むにつれ藪には野バラやバライチゴなどの密度が増し、その都度、剪定バサミや鎌で刈り、道を開きながらとあって暫し停滞の連続だった。

P473m三角点付近を過ぎ、下りだして、ようやく藪からは開放されたが、下りは谷筋の道とあって、所々でザレて道の状態は依然悪い。さらに荒れた屑石だらけの上に松ぼっくりが積もった坂が続いていたり足を取られて歩き辛い。

広域農道まで下れば、あとは熊谷寺から切幡寺に向かう遍路道と重なりながら法輪寺や秋月城跡を経て切幡寺参道の山門まで舗装路ばかりの歩きになる。山門まで至れば、あとは石段登りで切幡寺に着く。

【リーダーの感想】

県内「四国の道」24コースの内、多分このコースがワーストワンで間違いないだろう。平間から熊谷寺への山中の道は、荒れて藪道状態で人が歩いている形跡が見当たらなかった、十楽寺からの遍路道は徳島自動車の南に沿っており、お遍路さんが、この山中を歩くことも無く、更に谷筋の道が流されたのを修復もせず、何年も通行止めにして放置してあったために、見向きもされず、どんどんと荒れ果ててしまう次第に至ったと思われる。（ネットでの調べでは通行止めの案内板がある古い記事が載っていても歩いてきた限りでは見当たらず、現状では通行止めにはなっていない模様です。）



① 道の駅どなり（起点）



② 三角点 473m



③ 運動公園へ下る途中



④ 法輪寺山門



⑤ 切幡寺

